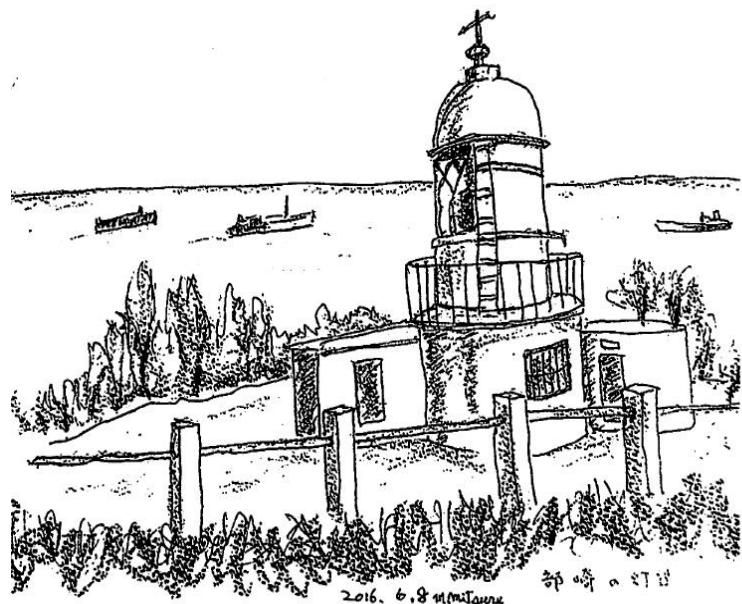


週報2021年7月4日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書4章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2021年7月4日

ピアノ：赤松真佐子 姉 オルガン：力丸勝子 師
司会・メッセージ 山崎銀次郎 牧師

| | |
|------|------------------------------|
| 祈祷 | 開会の祈り |
| 信仰告白 | 使徒信条・標語聖句唱和 |
| 賛美 | 新聖歌 254「こころにあるこの安きを」 |
| 祈祷 | *今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！* |
| 祈祷 | 献身の祈り |
| 賛美 | 新聖歌 248「人生の海の嵐に」 |
| 賛美 | コーラス 11 「注ぎたまえ主よ」 |
| 聖書朗読 | ルカによる福音書 8章 41-56節 |
| 説教題 | 「信仰により、歩み続ける」 |
| 祈祷 | 御言葉の応答の祈り |
| 頌栄 | 「主の祈り」 |
| 祈祷 | 祝福と派遣の祈り |

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈りあってますか

説教要約

ルカによる福音書 8 章 41-56 節
「信仰により、歩み続ける」

①信仰の歩みの第一歩

娘を病から救いたい会堂管理者ヤイロと長年患っていた長血を治したい女には共通する事がありました。それは命の危機に直面していたと言う事です。会堂管理者とは、会堂の維持そして礼拝順序の取り決め等を行う人です。一方、長血を患っていた女は、財産を病気の治療に費やして無一文です。今日の箇所が教えている事は、権力や経済の有無に関わらず、人は命の前では無力だと言う事です。

ルカによる福音書は神の権威について、ルカ独自の目線で伝えています。悪霊を追い出す力、自然を叱りつけ治める力、死人をよみがえらせる力、そして人の罪を赦す力。神の国の王は自由と解放を人々にもたらす為に、これらの力を用いる方だと、伝えています。つまりヤイロと長血の女は命の危機に直面する時であると同時に、命をもたらす神と出会う時を迎えていました。そして大事なポイントは神の権威に服したと言う事です。

人生の中で、今まで築き上げてきたことが一瞬にして崩れ去る事が起ります。繰り返し努力し、一生懸命に築き上げたものが、圧倒的な力が加わる事によって（自然や権力や病、そして罪の力）、人は無力さに打ちひしがれます。しかし御言葉の力はいつまでも残ります。無力さを痛感する時は、言い換えると神に出会う時です。神に希望を持つ時、それが信仰の歩みの第一歩です。

②信仰とは神の御前に進み出る事

ヤイロの娘が生き返る話と長血の女が癒される話は切り離せない出来事です。この二つ出来事を通じて神のメッセージがあるからです。そのメッセージとは“神が求める人とは信仰に生きる人”です。長血の女の話は、ヤイロの娘の間に割って入ってきます（実際、この女性は押し迫っている群衆に割って入り、イエス様の服の房に触れた）。彼女の信仰とはイエス様に一縷（いちる）の望みを懸けた事です。

本当ならば、彼女は家に出る事も避けたかったはずです。なぜなら、長血を

患ったことによって（ユダヤ）社会から“汚れた”と言う烙印を押されていたからです。そんな彼女が家を飛び出した事、そして最終的に群衆が取り囲む中でイエス様の前に進み出る事が出来た事。これがこの話の中心です。この女は唯一、自分の心にある本当の痛みを理解し、自分の事を尋ねて探し回って下さる、イエス様に自分の荷を全ておろしました。彼女はイエス様に促されて、人を恐れる生き方よりも主を畏れ敬う人生を選びました。これが彼女の信仰です。

イエス様が私達に望んでいる事は“信仰”です。それは言い換えると、御前に進み出る事です。私達の信仰の道は神に寄り頼む事。ただ、それだけです。神が私達を呼び求めてるのは、何か人より優れた部分があるからではありません。たった一人のかけがえのない存在だからです。その時、着飾った言葉も功績も身に着ける必要はありません。ありのままの姿で主の前に出て行きましょう。

③信仰によって歩む

長血の女が癒された後、再びヤイロさんの話に戻ります。ヤイロさんの家から人が出てきて、病気の娘が亡くなった事が告げられました。イエス様を取り巻く人達はこの状況で“(娘が助かる事は)もう無理だ”と思いました。しかしイエス様だけ「娘はなおります」（※50 節をお読みください）と言い、娘をよみがえらせました。

イエス様は歩みを止めない。これがこのヤイロの娘と長血の女の2つの話を貫いているテーマです。イエス様は人々が新しい命を得るまで、その歩みを止めません。（ルカ全体がこのテーマで貫いている※ザアカイの話参照 19:10）そこで、長血の女は、私達が在るべき、大切な姿勢を教えています。それはイエス様に従って歩む事です。

信仰の大敵は失望です。言い換えると失望とはイエス様を信じる事をあきらめる事です。イエス様はよみがえられました。これが私達の希望です。そしてイエス様は今日も歩みを止められません。私達に生きて働く神の力を体験させる為にです。主が言われた「安心して行きなさい」（48 節）は「祝福の内を歩みなさい」と言う意味です。どのような事が起こり、どのような境遇に立たされても、私達の祝福を奪う事は誰も出来ません。主に信頼しつつ、祝福の道を歩き続けましょう。私達の主は今生きておられる主です。これが私達の証です。